

空知地域における民国連携の取組

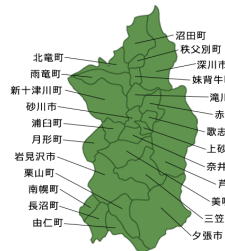
空知森林管理署 森林技術指導官 小國 敬篤

森林・林業再生、木材産業の成長産業化を実現していくためには、森林総合監理士等が中心となり民有林と国有林が連携し、施業の集約化、路網の整備、人材の育成を軸に、戦略的ビジョンを描き、その実現に向け、関係者と共に、積極的な取組を推進していく必要があります。

空知森林管理署では、これら課題の解決に取り組んでいますので、この内容を報告します。

地域、取組の状況

- ・ **森林の現状**：空知地域＝空知署管内 18 市町 森林＝管内面積の 65%
民有林＝約 131 千ha(44%) 国有林＝約 165 千ha(56%)
- ・ **連携と取組**：空知総合振興局林務課及び同森林室、管内市町村、林業事業者等と連携し、木材利用拡大を図るため公共施設等の木造化、木質バイオマスの活用などに取り組んでいます。
- ・ **署の取組体制**：対策チームを組織し、地域要望等の情報共有、課題解決に向けた取組を積極的に推進しています。



取組の内容・成果

これまでの取組により一定の成果を得ることができ、同時に今後の課題も見えてきました。

1. 地域の課題解決に向けた取組

- ・ 民有林行政実務への理解を深めるための研修を実施(署職員対象)
- ・ 地域林業の現状共有と取り組むべき課題等の絞り込み
 - ①木質バイオマス資源需要への対応、②民有林との共同施業団地の設定、③低コスト林業に向けたコンテナ苗木普及
- ・ 具体的な取組の推進(署テーマ)

「木質バイオマスエネルギー利用対策の取組」に係り、木質バイオマス発電施設等の現状把握と資源の安定供給体制構築に向けた対策を実施



2. 市町村支援

- ・ 「森林総合監理士等による市町村へ協力の推進」(長官通知)の内容説明により、市町村との継続的な協力関係を構築
- ・ 行政連絡会議を開催し、関係機関等との地域課題等の情報共有及び意見交換等を実施
- ・ 「市町村森林整備計画実行管理推進チーム」会議へ参画し、地域課題の共有と、その解決への技術的支援を実施
- ・ 各種補助制度等について、管内自治体への情報提供など支援(夕張市で薬木植栽事業実施)



3. 技術の普及と人材の育成

- ・ 国有林で培ってきた技術を民有林へ普及するため、現地検討会等を実施
- ・ 将来の林業技術者を育成するため、高校生対象のインターンシップを実施(岩見沢農業高校 森林科学科 2年生 8名)



課題と今後の展開

- ・ 地域課題：森林・林業活性化に向けた具体的対策に取り組む必要
 - ①需要増を見越した安定供給(木質バイオマス資源)の体制強化、②民有林行政への技術的支援、③森林共同施業団地の設定
- ・ 課題解決への体制整備を行い、地域と連携した具体的取組を実施
- ・ 現地での取組を検証し、更なる取組の実施
- ・ 森林総合監理士等は、地域とのパイプ役として連携を深めるため、直接足を運び顔の見える対応を実施

